

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北陸)	良く なっている やや良く なっている	－ スーパー（店 長） 高級レストラン （スタッフ） 住宅販売会社 （従業員） 住宅販売会社 （従業員）	－ 競争相手の様子 販売量の動き お客様の様子 お客様の様子	－ ・同業他社の何店舗かの閉店がある中で、当店に少し客が流れてきたのではないかと判断した。 ・土日祝日が11日間あり、少なかった平日は法人客が、週末は個人客で大いににぎわった。大きな機械系の学会や心臓内科学会、そして金沢らしい芸妓のかなざわ踊り（4日間）などで県外客の高単価利用が多く、例年に対し120%近い売上となり、今年一番の伸びがあった。 ・展示場来場者数が徐々に増えつつあり、商談件数も増えてきた。 ・消費税率アップによる影響によるものかは不明であるが、消費者の住宅に関する購買意欲は向上している。
	変わらない	商店街（代表 者） 百貨店（売場主 任） 百貨店（営業担 当） 百貨店（営業担 当） 百貨店（売場担 当） スーパー（総務 担当） コンビニ（経営 者） コンビニ（店舗 管理） 衣料品専門店 （経営者） 衣料品専門店 （経営者） 家電量販店（店 長） 家電量販店（管 理本部） 乗用車販売店 （経営者） 乗用車販売店 （経理担当）	お客様の様子 それ以外 お客様の様子 単価の動き 単価の動き 競争相手の様子 販売量の動き 単価の動き お客様の様子 お客様の様子 販売量の動き 販売量の動き 販売量の動き 販売量の動き	・月末に近づいてようやく暑さが引いたが、秋物に対する購買意欲が低い。 ・気温の低下がなかなか進まず、秋物需要が今一歩であったが、季節を先取りする感度の高い客の来店により、コートなど重衣料が好調に推移した。 ・今月で特徴的なのは記録的な残暑であり、通常であればTシャツなどファッション関連の夏物衣料は結構売れ、量もさばける。しかし、今回はファッション系よりも、タオル、洗剤、石鹸といった生活密着的なアイテムが比較的売れはしたが、ファッションに準じるものは、客は2枚、3枚と購買する様子はみられなかった。全体的には、単価が下がって、少し厳しい状態なのではないかというのが、この9月であった。 ・残暑の影響もあると思われるが、秋物の婦人服の動きは大変鈍く苦戦した。しかし、10万～30万円台の高額雑貨や、20万円程度の婦人服が良く動き、フロア予算を達成する事ができた。 ・婦人服衣料品は秋物を中心に動きが良いが、客単価が下がっている。売上は、ミセスゾーンが前年の89%、ヤングゾーンが前年の95%である。高額品、美術品、宝飾、呉服は客単価アップで、前年より10%上がっている。 ・地元スーパーの店舗閉鎖が続き競争が激化しているが、新しく買い取った企業も以前は2週間程度で開店していたが、今回は時間をかけるとのことから、景気の厳しさを感じる。 ・例年よりも高気温の日が続き、長引いた事もあり、飲料や冷し麺などはまずまずの数字を残した。しかし、2号店において競合店が近くに出店して以来、相変わらずその前の数字に遠く及ばない状態で、もうからないというのが実感である。 ・来客数の伸びが好調な店舗においても、客単価が低調なため、売上増につながっていない。 ・天候が不順で、特に残暑が厳しいため秋物の動きが悪く、売上がなかなか確保できない。 ・いろいろ手は尽くしているつもりであるが、客の足は止まっている。店舗は太い大通りの、両側200メートル程の商店街にある。銀行3店、駐車場のほかに、空店舗などを含め150軒ほどあるが、店舗を借りているのは飲食店3店と当店だけである。借りていて、営業を続けていける店などないと言われている。 ・テレビの販売数量が、前年と比べても半分ほどである。残暑でエアコンや冷蔵庫などの家電製品の売行きがよかったが、テレビの不足分をカバーできない。 ・前年同月と比較して販売量に変化がなく横ばいである。 ・今年は、販売車種が、小型車と軽自動車が大半を占めているので、販売量は変わらない状態で推移している。 ・エコカー補助金が9月下旬で終了し、車の販売量は前年同月比95%となった。補助金という特殊要因を除けば、個人消費の動向は変わらないと見受けられる。

自動車備品販売店（従業員）	お客様の様子	・来客数は例年並みだが、高額商品購入に対してはシビアな状況で必要最小限の商品購入と出来るだけ出費を抑えたい傾向が続いている。また、車検、メンテナンスについても同様の傾向が見られる。	
その他専門店 〔医薬品〕（総務担当）	来客数の動き	・季節要因から売上高は減少しているが、来客数には大きな変化は見られない。中旬までは残暑が厳しく飲料関係の動きが活発であった。下旬に入りようやく秋らしくなり、防虫剤など秋物商品に動きが出始めた。	
その他小売 〔ショッピングセンター〕（統括）	販売量の動き	・特に衣料品業種で、今夏の長引く残暑の影響で販売額が低下している。各店が販売刺激策として、敬老の日の連休などで割引や値引販売を実施したことで、単価も下降傾向となった。	
一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・9月に入っても暑い日が続き、冷しもの商品を求めて来客数も好調に推移している。2回の連休も、どこへ行っても人出でにぎわっており、ドライブや買物に出かけた人も多かった。	
観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・9月に入り連休は集客できたが、ウィークデーの集客がおもわしくない。結果、全体としての集客は前年比マイナスになっている。	
都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・秋季観光シーズンに入り、例年並みにレジャー需要が見込まれるものの、商品訴求の際の単価選択に、大きな変動が見られない。	
通信会社（役員）	販売量の動き	・テレビ多チャンネル契約の増減は、家計の余裕度を反映すると言われている。今月の契約獲得件数は前年と比較しやや減少しており、消費税増税に向けた心理的影響もあるのではと考えている。	
競輪場（職員）	販売量の動き	・3か月前と比べ、売上平均は1.2%下落している。ほぼ横ばいである。	
美容室（経営者）	来客数の動き	・来客数は前年を維持しているが、何かキャンペーンをしていないと、すぐに大きく低下する状況にあると考えている。	
住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・客の動きは増えているものの、実際の契約数は増えていない。慎重な客が多いようで、じっくりと時間をかけて検討しようという動きがうかがえる。	
住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・消費税増税前に、新築を検討している人が、今のところ思ったほど増えていない。	
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・衣料品の品揃えは秋物に変わっているものの、売れるのは夏物のバーゲン品である。人出も少なく、ここにきて今まで比較的好調なほうだった、飲食業も売上を落としている。
	一般小売店〔精肉〕（店長）	来客数の動き	・当店の設備投資が一段落し、客数が落ち着き、ちょっと売上が減少したように思われる。
	一般小売店〔事務用品〕（役員）	単価の動き	・全社的に、単価の動きというか、受注する金額が非常に厳しく、価格の競争が最近多い状況である。したがって、実績が悪くなっているのも、バラエティに富んだいろいろな仕事がたくさんないということが、会社としては非常に厳しい状態である。
	一般小売店〔書籍〕（従業員）	販売量の動き	・購買意欲の低下もあるが、それ以上に客の店や商品を選ぶ基準が非常に厳しくなっている。
	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・お盆以降、今月に入ってから気温の上昇が激しく、平均気温も9月の中旬まで30度と真夏日が続いており、秋物の動きが非常に悪い。暑さで客もあまり外に出ないため、たとえ客が来店しても今必要なものだけを購入するという動きが見られる。以前のようなまとめ買いというものは全くなく、単品買いが増えている動きである。
	スーパー（店長）	単価の動き	・今月の状況を見ている限り、さらに客単価の前年同月比が悪くなっている。下旬までは暑い日が続き、夏物商材が売れ、秋物商材の煮物、鍋物関連が売れず、中途半端な売行きを示している。売場とマッチしていないためであると思われる。
	スーパー（総務担当）	お客様の様子	・今月は残暑が続く、秋物の衣料品や生活用品が売れていない。先に購入するのではなく必要にならないと購入しない傾向が強くなっている。
	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・客数、客単価ともに、1～2%ポイントずつ前年を割っている状態が続いている。じわりじわりと売上が下がっているという状態が続いている。コンビニエンストアのみならず、ドラッグストアやスーパーといった業界の垣根が、段々低くなっていくことによって、他の業態に流れて行っているというのを、じわじわ感じている。

衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・9月に入っても暑さが続き、秋物の動きが良くなかったが、後半に気温も下がり始め、やっと客の来店も増えてきた。	
衣料品専門店 (総括)	お客様の様子	・客は今本当に欲しい物にしかお金をを出してくれない。迷っている客はだいたい買わずに帰る。	
家電量販店(店 長)	お客様の様子	・衝動買いがなくなり、よく吟味してから購入件数が増えた。無駄なものは購入しない傾向にある。	
乗用車販売店 (経営者)	単価の動き	・新型車の売行きが全体的に業績を左右している。小型車中心に売れているものの、新型であれば高級車、高額車でも引き合いは増えており、台数も売れている。一方で買える層と買えない層で2極化してきた感じがする。	
乗用車販売店 (役員)	販売量の動き	・エコカー補助金の終了が近くなるにつれ受注が極端に細っていった。販売の方は前年並みに登録しているが内容は大変悪くなっている。また修理部門も若干であるが前年比マイナスの傾向が続いている。	
住関連専門店 (店長)	来客数の動き	・来客数が減少している。消費税問題など不安要素が大きいようである。いらぬものは極力買わなくなっている。	
その他専門店 [酒](経営 者)	販売量の動き	・今までコンスタントに売っていた品物が、ちょっと足が悪くなったというか、売れなくなったというか、そういう品物が2~3点出てきた。何か、嫌な感じがしている。	
その他専門店 [ガソリンスタ ンド](経営 者)	お客様の様子	・必要なものは購入しているが、必要でないと思ったものはあまり購入していない。	
一般レストラン (店長)	来客数の動き	・人の動きも悪く、特に単価の高い店舗が苦しい。	
観光型旅館(ス タッフ)	来客数の動き	・総売上は前年同月比95%、宿泊人数は同98%、宿泊単価は同96%となった。人数の割に総売上の減少が多いのは、1~14人以下の個人客の減少が影響している。また館内消費は低調であった。	
都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・宿泊、レストラン部門は好調を維持しているが、宴会部門は苦戦し、全体としても前年同月比で減少している。	
旅行代理店(従 業員)	競争相手の様子	・駅前のカウンター競合店が2店も閉鎖し、その分の来店数の増加は見られるが、売上増にはつながっていない。不要不急の旅行に対する個人消費は、渋くなっている。また、店舗の駅前立地のメリットは、もはや見込めない。	
タクシー運転手	来客数の動き	・下旬ごろまで残暑が続き、昼間外出する人は少なかった。暑い日が続いたためか、夏バテで夜の街へ出る人が少なかったようで、あまり良くなかった。	
タクシー運転手	販売量の動き	・売上が、前年に比べて大幅に落ち込んでいる。夜の落ち込みが特にひどい。	
通信会社(職 員)	お客様の様子	・割引サービスの提示に対しても反応が鈍く、料金滞納件数も少しづつ増える傾向にある。	
通信会社(営業 担当)	販売量の動き	・操作説明や故障など、来店客自体は増えているが、新型スマートフォンの発売の影響もあるのか、販売へ結びつくことが少なく感じる。ただ販売数がそれほど落ちていないのは、家族購入でキャッシュバックがあるため、一家族での複数台購入が目立つからだと思っている。	
その他レジャー 施設(職員)	お客様の様子	・会員の退会率が上がっており、入会者の減少と共に、全体の会員数が減少している。	
悪く なっている	コンビニ(店 長)	来客数の動き	・8月がようやく前年同月を上回り、9月を迎えたが、今月の売上は前年同月実績を下回った。決して寒すぎたりというようなことではないため、例えば飲料などの売上は伸び悩んではない。ただ、全体では前年並みで推移しており、飲料など以外の売上が全体的に伸び悩んでいるのが現状である。明確な原因は正直分かっていない状態だが、5%ほど前年同月より悪い状態である。
	スナック(経営 者)	来客数の動き	・個人商店主、パーティー派遣経営者などから、こんなに大変なひどい月はかつてなかったなどと耳にし、当店も売上は前年同月比35%減少といった具合で、不安な気持ちになる。中小企業の人達からもよい話は聞かれない。

		テーマパーク (職員)	来客数の動き	・前年同月比較で15%近い利用人数の減少となった。主な要因は、個人客に加え団体客が大きく落ち込んだ影響である。その原因は、東京スカイツリーの開業や九州新幹線などの影響もあり、中部エリア、とりわけ北陸エリアでの旅行の動きが鈍くなっていると思われる。
企業 動向 関連	良く なっている	—	—	—
(北陸)	やや良く なっている	不動産業(経営者)	受注量や販売量の動き	・同業者に聞いたところ、今少し動きが出ているという声が多かった。
		司法書士	取引先の様子	・分譲マンション、住宅地の売買が堅調だった。
	変わらない	繊維工業(経営者)	取引先の様子	・衣料関係および車の購買意欲が、非常に低下しつつあり、受注状況に直接影響しているのが現状である。
		化学工業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・現在の受注量は、横ばいで推移している。
		プラスチック製品製造業(企画担当)	受注量や販売量の動き	・物の動きは微増の様相が少し見えているが、数字として上がったところまではいかない。
		精密機械器具製造業(経営者)	取引先の様子	・全体的に厳しい状況には変りないが、部品などの仕入先の様子は2~3か月前とほぼ同じ状況である。一部、国産低価格商品を手がけているメーカーの受注残はそこそこの様だが、収益性としてはかなり厳しいようである。
		建設業(経営者)	競争相手の様子	・相変わらずの過当競争が続いており、受注しても採算は悪く、受注できない業者はジリ貧状態が続いている。
		輸送業(配車担当)	受注量や販売量の動き	・特に変わった様子もなく、安定している。
		金融業(融資担当)	取引先の様子	・今月については、中国の反日デモの影響もあり、過去3か月に比べると足踏み状態が続いている。
	金融業(融資担当)	取引先の様子	・消費税率引上げを見越して、耐久消費財を活発に売ろうとする売手側の動きが活発になってきた。一方で、株価の上値も重い個人消費にはなかなかつながらず、そのギャップが、まだ景気の足踏みにつながると思う。	
		税理士(所長)	受注量や販売量の動き	・関与先の受注量や販売量の動きで判断した。受注量や販売量については今のところ順調にきている。価格面では、従来からどうしても右肩下がり傾向があるが、現在ではそれほど落ち込みはない。リーマン・ショックを乗り越え復活した状況を維持している会社が多いような気がしている。
	やや悪く なっている	食料品製造業(役員)	受注量や販売量の動き	・販売重量については、ここ3か月の動向は変化が無いといえる状況だが、原料価格について総平均価格が増加しており、収益面で影響が出始めている。
		繊維工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・超円高、海外市況(特に欧州)の悪化の影響で、輸出環境は相変わらず厳しい状況が続く、前年同月比で受注が大幅に減少している。国内市場についても受注環境が厳しい。輸出・国内とも加工賃の下げに対する要望が強い。
一般機械器具製造業(総務担当)		受注量や販売量の動き	・円高の影響で、国内及び欧州、アジア、北米全ての市場で、設備投資意欲が減退している。	
電気機械器具製造業(経理担当)		受注量や販売量の動き	・今年初め頃より今月まで、引き続き好調だったスマートフォン関係の部品にやや陰りが出始め、在庫調整局面に入っている。	
建設業(総務担当)		受注価格や販売価格の動き	・異常な低価格による見積入札が減少し、競争相手も採算を重視する姿勢が出てきた。	
輸送業(配車担当)		取引先の様子	・尖閣諸島問題による中国との関係悪化により、貿易に影響がでており、今後急速に関係が改善するとは考えられず、状況が好転するとは考えられない。	
	悪く なっている	○	○	○
雇用 関連	良く なっている	—	—	—
(北陸)	やや良く なっている	求人情報誌制作会社(編集者)	求人数の動き	・3か月前に比べ、求人情報誌の発行1回あたり100件ほど求人数が増えた。
		新聞社[求人広告](担当者)	求人数の動き	・求人広告の件数が増えており、良くなっている気配がある。
	変わらない	人材派遣会社(役員)	求人数の動き	・欠員補充のための需要は増えている。しかし、即戦力を要求される求人のため、マッチングが難しい。

	人材派遣会社 (社員)	雇用形態の様子	・短期間の派遣依頼は10月～来年1月まで微増ではあるが増えている。また、ここ最近、派遣先から紹介予定派遣についての問合せが増えてきた。
	職業安定所(職員)	雇用形態の様子	・新規求人数は増加しているが、イベントなどの臨時的な求人が多く増加しているものである。
	職業安定所(職員)	求人数の動き	・月間有効求人数は30か月連続で前年同月比増加となっているものの、新規求人数は4か月ぶりに前年同月比減少、前月比も2か月連続減少となり、増加傾向が一段落した状況となっている。
	職業安定所(職員)	求人数の動き	・新規求人数は、製造業が円高などの影響で若干減少しているが、卸小売や医療福祉では、新店舗や新施設のオープンなどにより増加しており、全体では横ばいである。
	民間職業紹介機関(経営者)	求人数の動き	・求人数が増えてこないのに加え、登録者数も前年の50%と少ない。
	学校[大学] (就職担当)	求人数の動き	・求人数についてはあまり変化はないが、理工系学生を採用する企業が増えているよう思われる。
やや悪くなっている	新聞社[求人広告] (担当者)	求人数の動き	・9月の求人広告の売上は、前年同月に比べ7割であった。
悪くなっている	—	—	—